



取り付けは、各家庭で行なってください。アパートや貸家などに設置する場合は、事前に家屋の所有者や管理会社などに承諾を得てください。

住宅用火災警報器を 配付します

火災による死者の半数以上は高齢者です。また、死亡原因の7割が逃げ遅れで、特に就寝時間帯に多いことが特徴です。このようなことから消防法が改正され、既存住宅では平成23年5月末日までに住宅用火災警報器を設置するよう義務づけられています。

市では、皆さんの安全安心な暮らしと火災警報器の普及促進を図るため、住宅用火災警報器を各1個無料配付します。ぜひご利用ください。

配付対象 平成22年2月1日現在で本市に住民登録がある世帯の世帯主など
ただし、次の世帯は配付対象から除きます。

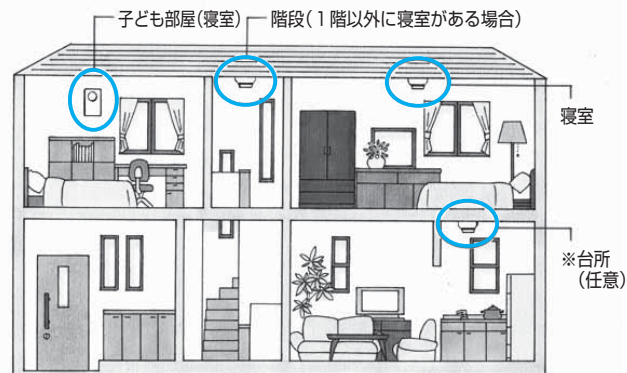
配付対象外 ①県・市営の公営住宅の世帯 ②国・県などの官舎、寮などの世帯
③病院・社会福祉施設などの療養者の世帯

今回配付する警報器は煙感知式です。2月から宅配業者を通じて配付を開始する予定です。全世帯への配付には約1カ月ほど期間を要しますので、ご了承ください。

設置場所は広域連合消防本部の火災予防条例で定められています。2カ所以上設置しなければならない場合は、各家庭で不足分を購入し、設置に努めるようお願いします。

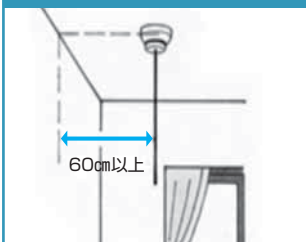
警報器の設置場所

火災警報器は、住宅火災の現状や設置効果などから、ふだん就寝に使う部屋(寝室)に設置することになっています。就寝に使用する子ども部屋も含まれます。寝室が2階以上にある場合は、その階の階段にも設置しなければなりません。



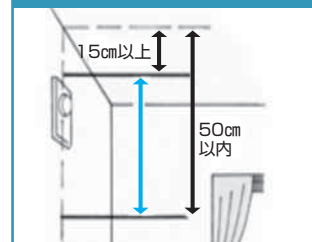
天井に取り付ける場合の位置

天井に設置する場合は、火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



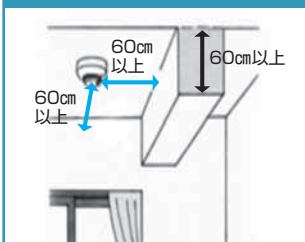
壁面に取り付ける場合の位置

壁面に設置する場合は、天井から15～50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。



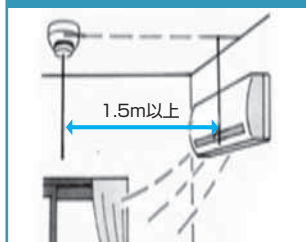
梁(はり)などがある場合の取り付け位置

天井に60cm以上の梁がある場合は、火災警報器の中心を梁から60cm以上離して取り付けます。



エアコンなどの近くの取り付け位置

換気扇やエアコンなどの吹き出し口付近に設置する場合は、吹き出し口から1.5m以上離します。



購入の際は、感度やブザーの音量などが省令などの基準に合格したNSマーク(日本消防検定協会の鑑定合格証)付きの住宅用火災警報器を目安にしてください。



火災警報器の追加購入や取付工事(有料)などは、次の市商工会加盟の電気店などにご相談ください。

事業所名	住所	電話番号
(有)川口電気システム	幾久富 1909-1171	248-3858
パナランドエノウ	幾久富 1866-672	248-0101
かつら電気商会	栄 2119-1	248-2282
藤原電気	栄 2187-1	242-7239
テシマデンキ	須屋 715-65	343-8304
(株)でんきのサントップ	須屋 364-2	344-4951
藤岡電設	須屋 628	345-6367
ミノル電気	須屋 715-8	345-4045
四方田電設工業	須屋 1953-6	344-8383
(有)渡辺電設	須屋 635-4	344-3165
本田電気工業	合生 4031-2	242-1210
中谷電設	御代志 1661-196	242-2440
(有)宮本電気商会	御代志 1524-7	242-0046

問い合わせ先 総務課 交通防災班(合志庁舎) ☎248-1112

がんばる消防団を 紹介!

今回、市の公設消防団による出初式の様子をお伝えしましたが、各地区では自主的に設立した自衛消防団も活躍しています。大規模災害が発生した場合、公設消防団だけではすべてに対応しきれないことも予想されます。そんなとき、活躍を期待されるのは地域に根ざした自衛消防団です。そこで、ボランティアで地域に貢献している自衛消防団の1つ、黒石団地区自衛消防団の活動の一端をご紹介します。



消防団と周辺住民の皆さん

12月20日、黒石団地区自衛消防団の皆さんで側溝整備が行なわれました。側溝が土砂で詰まり、梅雨の時期に道路上に水があふれて住民宅に流れ込むことから、8月と12月の2回に分けて実施されました。

もともとこの自衛消防団は、黒石団地ができる以前に火災防止の目的で空き地の草刈りを有志で始めたのが設立のきっかけでした。主な活動は消防・防火活動ですが、今回は住民の要望を受けた区が作業を依頼したものです。当日は20代後半から50代までの団員6人が参加。気温3度で時おり小雨が降る寒さの中、参加者は作業に汗を流していました。

佐藤憲一団長は「ボランティアなのでできる範囲です。」と話していましたが、側溝のふたを一つひとつ上げて、スコップで土砂をかき出す丁寧な作業が進められました。住民からは「自分たちも高齢化しているので本当に助かります。」という感謝の言葉がかけられていました。



すべて手作業で進められました
(写真左が佐藤団長)

防火への決意を新たに 合志市消防出初式

新春の寒気の中、行なわれました



1月10日、市消防出初式が西合志南中学校グラウンドで実施されました。出動した団員は482人。各分団の団体としての行動・規律の点検や基本動作、服装を確認する通常点検が行なわれました。緊張感のある雰囲気の中で進められた出初式ですが、途中、見学者の目を楽しませてくれたのはアトラクションです。愛泉保育園の園児たちによる「通常点検」と「防火の誓い」が披露されました。消防の法被を着た小さな園児たちが、大人の団員に負けない

くらいの大きな声で元気よく「防火の誓い」を唱和しました。近年は全国的に消防団員が減少傾向にあります。本市も例外ではありません。団員の高齢化や若者の参加の減少などが課題となっています。この機会に一度、自分の住む地域の消防団の活動に参加してみませんか?

●通常点検の成績
優勝 本部機動班(市職員)
準優勝 第11分団(御代志)
第3位 第6分団(栄)



守ります!「防火の誓い」